

記事解説

平成 30 年 8 月 24 日
日本原子力研究開発機構

件名：原子力機構の作業員あごにプルトニウム付着
平成 30 年 8 月 23 日（木）NHK 他

記事概要

- 今月 6 日、サイクル研にて作業員のあごにプルトニウムが付着するトラブルがあったことが判明。
- あごから 5 ベクレル、作業着から 33 ベクレル、周辺の床でも飛散したプルトニウムが検出された。
- グローブボックスに腕を入れるゴム製のグローブに小さな穴があり、グローブボックスのプルトニウムが付着したと見られる。
- 原子力機構では去年 6 月に作業員 5 人が被ばくする事故が起き、管理体制の在り方が問題となっている。
- 今回のトラブルについて原子力機構は「作業員の被ばくは確認されず、施設の外にも影響がないため公表の基準には該当しない」として、公表していなかった。

事実関係

- 記事内容については概ね事実である。
- 記事中の「作業員の被ばくは確認されず、施設の外にも影響がないため公表の基準には該当しない」として公表していなかったについて、核燃料サイクル工学研究所における情報発信については、発生した事象が法令報告対象の場合はプレス発表を行い、法令報告に該当しない場合は核燃料サイクル工学研究所ホームページの日報にて公表を行うこととしている。
今回の事象は、法令報告に該当する事象ではなかったことから、核燃料サイクル工学研究所ホームページに日報を掲載し（8/7～8/21）、公表したところ。

以 上